



## 新たな取組を糧にして難局を乗り越える～「一丸突破」～

副校長 沖山 宗弘

**新**年度が始まり早1か月が経ちました。今年度は、新型コロナウイルスの世界的な大流行に伴う非常事態宣言の発令により、学校も長期休業を余儀なくされています。本来であれば、この時期は運動会に向けて子供たちの元気な声がこだまするはずの校庭や体育館から子供たちの声が聞こえてこないことは、本当に残念でなりません。一日も早く、このウイルスが終息し、世界中の人々が安心して過ごせる日々が来ることを切に願うばかりです。

今まで経験したことがないような感染症による経済や教育の危機に直面し、自粛や我慢が求められ、精神的にも苦しい日々を過ごさなければならぬ中でも、日々懸命に自分には何ができるか自問自答し、新たな活路を見出そうと取り組んでいる人たちを見ると、頭が下がるばかりです。

**私**たち教職員も、こうしたみなさんの努力に負けないよう、子供たちとの「つながり」を家庭と連携しながら創出し、学びの機会を維持していくと、次のような新たな取組を行っているところです。

まず、家庭学習の課題の出し方の取組です。今までは、前学年の復習を行うという視点から出していた課題を、新しい学年の学習内容について少しでも予習できるようなものに移行しました。そのため、できるだけ子供に分かるようにガイドを付けたり、オンラインのどの教材を活用したらよいか、教科書のどのページを見ればよいか分かるようにしたりしました。

次に、「本の福袋」の取組です。関口台町小学校の子供たちは本好きが多いというのが私たちの実感です。しかし、図書館も閉鎖されてしまうという中で、「ぜひ子供たちの読書量を確保できるようにしたい」「普段、手に取らないような本を読むことで、新たな本の魅力を発見してほしい」との願いからこの取組を始めました。勤務が抑えられている学校図書館支援員が選書・袋詰めをしているので、貸し出しの準備完了の連絡があるまで少し時間がかかることについてご了承いただくとともに、この機会だからこそ本のよさにも触れてもらいたいと思います。

さらに、動画の配信の取組です。最初は、子供

たちに「担任の先生を知ってもらいたい」「休校中でも先生方の元気な姿や思いを届けたい」という願いから動画の作成を行いました。徐々に家庭学習の課題を進める上でガイドになるような内容の動画へと移行させるように考えています。

最後に、オンライン会議システムを活用したホームルームの取組を来週から試行的に始められるように準備をしています。学校の役割には、子供たちに確かな学力を育むとともに、社会集団として生きていくために必要な社会性や規範意識などを身に付けさせることにあります。子供たち同士、そして子供たちと教師との対話・関わりがあってこそ、そのことを成立することができます。

学校という場でそのことができない今、通信手段による対面ではありますが、少しでも対話・関わりをもつことは重要であると考えています。様々な課題があることは承知しておりますが、歩みを前に進めなければ何も活路は見出せません。私たちの思いにご賛同いただけると幸いです。

学校は、人で支えられています。関口台町小学校の教職員の合い言葉は「一丸突破」です。教職員はもちろんのこと、保護者の皆様も、子供たちが、互いに心をつなげてつなげる中で、この難局を乗り越えていきたいと考えています。

**日**本人の美德とは何か。この危機に直面してそのことを改めて考えさせられました。私は大きく二つあると考えています。

一つは、いかなる場合にも規律性と秩序を重んじるということです。例えば、これは震災などの際に、整然と列をなし、自分の順番を待ち続けることができるということが証明してくれています。

もう一つは、他者を敬う気持ちを忘れないということです。例えば、日本人はチップなどをもらわなくても、常にお客の目線に立って、最高の接客態度を心がけて仕事に取り組んでいます。人の役に立つことを喜びに変えられるのです。

コロナ禍の中で、子供たちには会えませんが、常に子供たちを思い、その思いに寄り添って、家庭学習の課題を提示したり、オンラインによる対話を試みたりしていきたいと思っております。

引き続き、本校の教育活動にご協力・ご支援のほどよろしく願いいたします。

## ◆家庭学習の課題の受け取り期間

4月に引き続き、1週間ごとに家庭学習の課題を出していきます。保護者の皆様には、次の日程で課題を受け取りに来ていただきますようお願い申し上げます。5月1日付通知と受け取り時間を一部変更(下線部)しています。

【課題の提出及び受け取りの場所：正面玄関内の各学年・学級の靴箱前】

〔課題・第3弾〕 5月11日(月)～5月17日(日)に 取り組む家庭学習の課題の受け取り日程等	◆5月7日(木) 正午～午後7時まで ◆5月8日(金) 午前8時15分～午後7時まで ◆5月9日(土) 午前9時～午後5時まで
〔課題・第4弾〕 5月18日(月)～5月24日(日)に 取り組む家庭学習の課題の受け取り日程等	◆5月13日(水) 午後1時～午後7時まで ◆5月14日(木)・15日(金) 午前8時15分～午後7時まで
〔課題・第5弾〕 5月25日(月)～5月31日(日)に 取り組む家庭学習の課題の受け取り日程等	◆5月20日(水) 午後1時～午後7時まで ◆5月21日(木)・22日(金) 午前8時15分～午後7時まで

※4月中に取り組んでいる課題・第2弾は、5月7日(木)～5月9日(土)の期間に提出してください。

### ◆スクールカウンセラーの電話相談日設定

休校期間が長引いており、児童や保護者の皆様が多く不安やストレスを抱えていることが考えられます。そこで都のスクールカウンセラーによる電話での相談日を以下の通り設定します。悩みや心配事がある際にはご相談ください。

5月12日・19日・26日のいずれも火曜日  
午前8時30分～午後4時30分

### ◇着任の言葉～よろしくお祈りします～

<主任教諭 高木 文子>

子供たちの良さを伸ばせるよう頑張ります。どうぞよろしくお祈りいたします。

<教諭 竹内 詩織>

関台小の子供たちと一緒に学習するのを楽しみにしていました。どうぞよろしくお祈りいたします。

<教諭 尾崎 悟>

子供に会えない特別な状況ですが、アイドリングを維持し、常に全開にできる準備をしておきます。

<教諭 武井 智哉>

活気ある学校に赴任し、素晴らしい環境の中で先生をすることができるのを嬉しく思います。

<教諭 中村 陽介>

素敵な学校に赴任できたことを嬉しく思っています。どうぞよろしくお祈りいたします。

<教諭 木下 りえ子>

子供たちが自分らしく輝けるよう努めてまいります。よろしくお祈りいたします。

<教諭 久保 浩子>

みなさんの歌声が聴ける日を楽しみにしています。よろしくお祈りいたします。

<特別支援教室指導員 増井 菜穂子>

明るく元気な子どもたちと会えるのが楽しみです。1年間よろしくお祈りいたします。

<特別支援教室専門員 森 大輔>

毎日子供たちが明るく、楽しく、笑顔で学校生活を送れるよう全力で頑張ります。

### ■5月以降予定の行事について

- ①5月末に予定していた運動会は、規模を見直し、秋に行くかどうかを検討しています。
- ②夏期休業期間の短縮、土曜授業日の追加、都民の日の授業実施などで授業時数を確保します。
- ③本校での漢字検定は中止します。
- ④演劇鑑賞教室(3年)、音楽鑑賞教室・連合音楽会(5年)、陸上記録会(6年)等の区教育委員会主催の連合行事は中止します。
- ⑤八ヶ岳移動教室(5年)、魚沼移動教室(6年)は、規模の縮小も含め、秋以降に実施できるかどうかを区教育委員会が検討中です。
- ⑥ミニ関台キッズ、社会科見学等の校外学習は、時期を見て実施の可否を判断します。
- ⑦身体計測や学校医による健康診断は、授業再開後に改めて日程をお知らせします。
- ⑧保護者会、個人面談は、学校再開時期が確定した後、実施日を検討いたします。

### ◇離任の言葉～ありがとうございました～

<教諭 原 豊>

関台の子供たち、保護者の皆様方のおかげで楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。

<教諭 西川 桃子>

皆さんと過ごした1年は、とても楽しく充実した毎日でした。ありがとうございました。

<教諭 高野 恭知>

笑顔が素敵な子供たちと過ごした日々、とても楽しかったです。ありがとうございました。

<教諭 大久保 秀晃>

短い間でしたが、関台小の子供たちと過ごした日々は貴重な財産です。ありがとうございました。

<特別支援教室専門員 三宅 香織>

活動中に見せる子供たちの笑顔からパワーをもらっていました。半年間ありがとうございました。